



別府市総合戦略策定に係る審議スケジュール等について

令和6年8月

地方版総合戦略の改訂について

国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した改訂が求められています

地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引きの改訂

「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」の改訂等について

- デジタル田園都市国家構想総合戦略の閣議決定を踏まえ、「デジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した地方版総合戦略の策定・改訂について(通知)」を发出し、併せて、「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」を改訂。
- まち・ひと・しごと創生法において、国の総合戦略を勘案するよう努める必要があるとされていることから、**早期の策定・改訂に努めていただくようお願いしたい**(手引きP22参照)。

※「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き(令和4年12月版)」については、以下のホームページに掲載しています。
<https://www.chisou.go.jp/sousei/about/chihouban/>

見直しの主な内容

デジタル田園都市国家構想総合戦略により、デジタルの力を活用し地方の社会課題解決や魅力向上の取組の加速化・深化を図る観点から、地方版総合戦略の手引きについて、以下の見直しを行う。

- ① 施策間連携・地域間連携の重要性についての記載を追加 (1-4)
- ② デジタル関連の外部有識者の参画に係る例示等を追加 (2-2)
- ③ デジタル担当部局との連携の重要性についての記載を追加 (2-3)
- ④ 地方版総合戦略の名称の例示等を追加 (3-1、3-2)
- ⑤ これまでの地方創生の取組との関係に関する説明を追加 (3-5)
- ⑥ 地域ビジョンに関する記載を追加 (3-6)
- ⑦ デジタル技術を活用した特徴的事例(例示)を追加
(1-1、1-2、1-3、1-4、4-1、4-2)

3

出典：令和5年1月、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局「地方版総合戦略の改訂について」

地方創生10年の取組と今後の方向性

これまでの地方創生の取組を踏まえ、課題に対応することが求められます

地方創生10年の取組と今後の方向性

「地方創生10年の取組と今後の推進方向」の概要		令和6年6月10日 内閣官房デジタル田舎都市国家構想実現会議事務局 内閣府地方創生推進事務局
前文		
<ul style="list-style-type: none">▶ 本年（2024年）は、地方創生の取組が本格的に始まってから10年の節目を迎える。▶ 地域によっては人口増加等をしているところもあり、この中には地方創生の取組の成果と言えるものが一定数あると評価できる。▶ しかしながら、国全体で見たときに人口減少や東京圏への一極集中などの大きな流れを変えるには至っておらず、地方が厳しい状況にあることを重く受け止める必要。人口減少や東京圏への過度な一極集中を是正するための対策は、我が国全体で戦略的に挑戦すべき課題であり、離島等における我が国領域等への影響といった危機感も持ちながら、「自然減」「社会減」それぞれの要因に応じて適切な対策を講じていく必要がある。さらに、人口減少等が大きな社会課題となっている諸外国の取組も踏まえることが有効。▶ 地方創生に関する目標は、その達成状況等を踏まえ、目標年次などを変更しつつ、デジタルの活用も含めて施策の改善も図ってきたところであり、今後も時宜を捉えた対応が求められる。▶ 小規模な自治体をはじめ、国によるきめ細かな支援を行いつつ、国民との信頼と対話の中で、地方創生に関する国民的な議論を展開していくことにより、人口減少や東京圏への一極集中等に関する認識を国民の間で広く共有しつつ、一人ひとりの多様な幸せ（well-being）につながる施策を推進していくことが求められる。		
地方創生10年の取組・成果		
<ul style="list-style-type: none">・ 地方創生に関する地域の関係者の意識・行動の高まり・ 各自治体による主体的な取組の推進（財政支援、人材支援、情報支援の活用）	<ul style="list-style-type: none">・ 地方移住への関心の高まり、移住者数の増加・ 人口に係る一定の成果 等	
残された課題、新たな課題と今後求められる取組方向		
<p>(1)東京圏への過度な一極集中への対応</p> <p>→ 地方移住、企業の地方移転、地方大学・高校の魅力向上に加え、女性・若者にとって魅力的な地域づくりや、その他、男女間・地域間の賃金格差など、東京圏への過度な一極集中をもたらした諸要因を踏まえた検討、中枢中核都市等におけるゲートウェイ機能の向上、防災・減災、国土強靱化の取組の強化、分散型国づくり等との連携など</p> <p>(2)少子化への対応</p> <p>→ 結婚や子どもを持ちたい希望をかなえるための政策を、特に未婚者を多く抱える大都市も含め、スピード感をもって実行、社会全体で子ども・子育て世帯を応援していく気運を高めていくための社会の意識醸成など</p> <p>(3)地域の生産年齢人口の減少への対応</p> <p>→ 仕事と子育ての両立が可能な働き方の確立、高齢者や障害者も安心して働くことができる雇用環境の整備、多様性のある共生社会の実現に向けた検討など</p> <p>(4)地域資源を生かし、付加価値を高める産業・事業の創出</p> <p>→ 地域資源の掘り起こし等に必要生産者や中小企業に対するサポート、産業活性化と拠点施設等の一体的な整備による地域の稼ぐ力の向上、地域経済の内発的な活性化、海外製造業を含めた国内投資の促進に向けた関連インフラを含めた総合的な支援など</p>	<p>(5)地域における日常生活の持続可能性の低下などへの対応</p> <p>→ デジタルの活用や官民連携による日常生活に必要なインフラ・サービス(交通支援、買物支援、オンライン診療等)の強化、デジタル行財政改革との連携など</p> <p>(6)都市部と地方との連携機会の拡大</p> <p>→ 農山漁村等での体験活動、地方における定住人口や交流人口の増加に向けた取組の推進、デジタルも活用した関係人口の増加に向けた取組の推進など</p> <p>(7)大規模災害被害からの創造的復興に向けた貢献</p> <p>→ 能登半島の被災地におけるデジタルライフラインの整備など</p> <p>(8)地方創生の取組に悩みを抱える自治体へのきめ細やかな支援</p> <p>→ オンラインも活用した自治体への人材支援、小規模自治体など伴走支援を必要とする自治体に対し、地方支分部局を含め、関係府省庁が連携したサポートの推進など</p> <p>(9)地方創生の取組を加速化・深化するデジタル活用の更なる拡大</p> <p>→ 自治体のデジタル実装の質的向上、国と地方の実装の役割分担(作り込みから使いつなぐ)、デジタル実装の優良事例の掘り起こしとサービス/システムのカタログ化による発注コスト低減・横展開、環境や循環経済の効果可視化、障害者等に働くロコユース支援など</p> <p>(10)地域・社会課題の解決に向けた規制・制度改革</p> <p>→ 国家戦略特区の取組の推進と成果の全国展開、地理的に離れた自治体が連携して共通の課題に取り組む「連携“絆”特区」の推進など</p>	
最後に		
<ul style="list-style-type: none">・ 人口減少に歯止めをかけ、東京圏への過度な一極集中を是正する目標の実現に向け、諸外国の取組も参考にしながら、我が国全体で戦略的に挑戦するとともに、人口減少下においても、希望を持って住み続けることができる持続可能な地域づくりを進めるため、従来の取組を超える新たな発想に基づく施策を検討・実行していくことで、一人ひとりが多様な幸せ（well-being）を実現する社会を目指すことが重要。・ 今後、自治体、有識者をはじめ、国民との信頼と対話の中で、地方創生の推進に関する国民的な議論を展開し、人口減少や東京圏への一極集中等に関する認識を国民の間で広く共有しつつ、施策の検証や優良事例の横展開などを推進することで、それぞれの自治体が主体的に行う地方創生の取組を強力に後押ししていく。		

国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の全体像

デジタルの力の活用を含め国の総合戦略を勘案した戦略策定が求められます

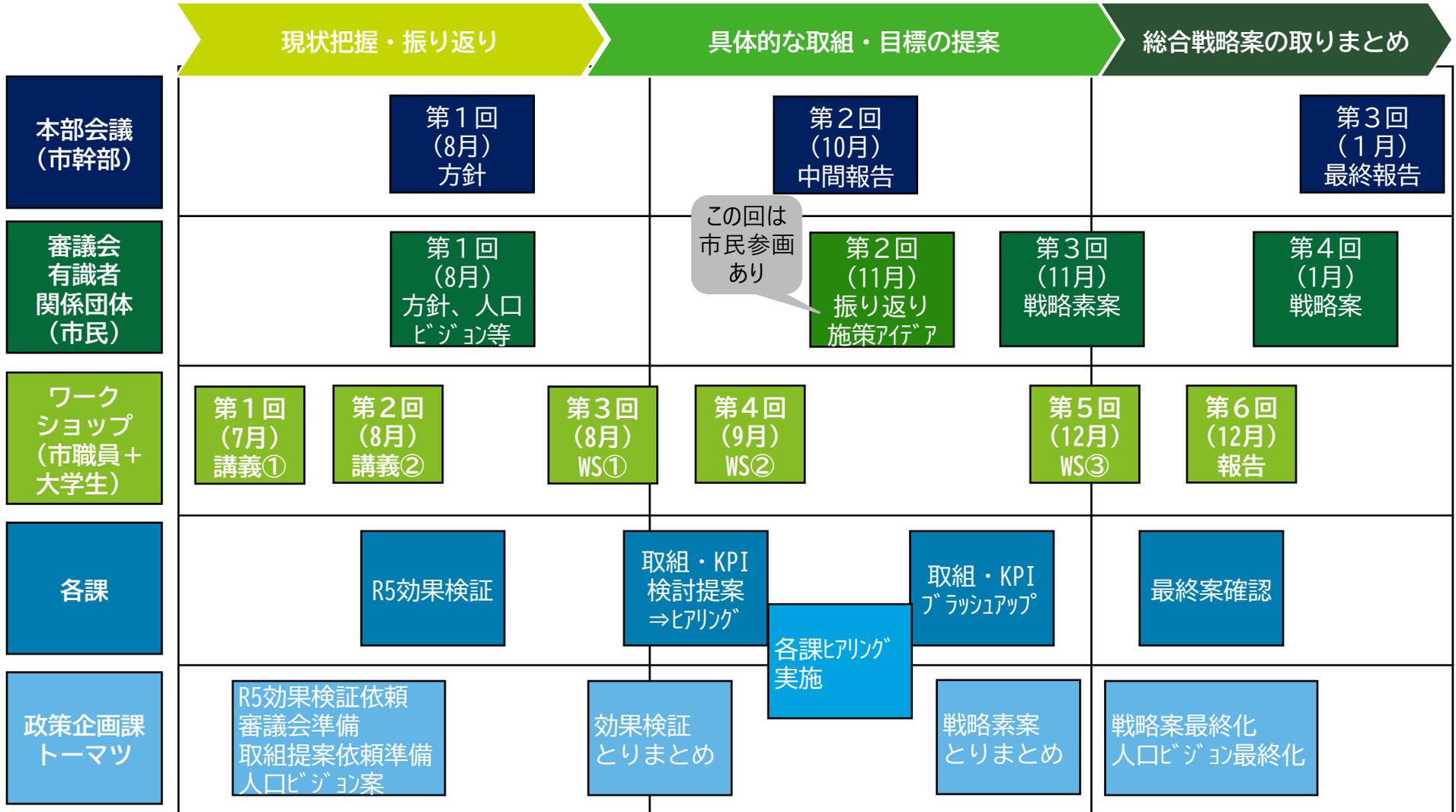
国の総合戦略の全体像

デジタル田園都市国家構想総合戦略(2023改訂版)の全体像		〔令和5年12月26日 閣議決定〕	
総合戦略(2027年度までの5か年計画)の基本的考え方			
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。 ➢ デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、各地域の優良事例の横展開を加速化する。 ➢ これまでの地方創生の取組についても、改善を加えながら推進する。 			
施策の方向			
<div style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">地方の社会課題解決</div> <ul style="list-style-type: none"> ① 地方に仕事をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小・中堅企業DX、地域の良質な雇用の創出等、スマート農業、観光DX等 ② 人の流れをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住の推進、関係人口の創出・拡大、地方大学・高校の魅力向上等 ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる <ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚・出産・子育ての支援、少子化対策の推進等 ④ 魅力的な地域をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活圏、教育DX、医療・介護DX、地域交通・物流・インフラDX、防災DX等 	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">国によるデジタル実装の基礎条件整備</div> <ul style="list-style-type: none"> ① デジタル基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルインフラの整備、デジタルライフライン全国総合整備計画、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大等 ② デジタル人材の育成・確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成等 ③ 誰一人取り残されないための取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現等 		
政策間連携・施策間連携・地域間連携の推進			
<p>(政策間連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル行財政改革会議における議論の進展や、「デジタル行財政改革中間とりまとめ」なども踏まえつつ、規制改革を始めとする政策と連携しながら、一体的に推進等 <p>(施策間連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各省による重点支援や地方支分部局の活用等による伴走型支援等を通じて、地域が目指す将来像の実現を支援等 <p>(地域間連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用の取組を促進等 			

各種会議体の構成とスケジュール案

各種会議体が連携して、戦略策定（改訂）を進めます

各種会議体の全体スケジュール案



本部会議と審議会の役割とスケジュール案

審議会では、各種意見の聴取及び戦略案への提言等を行います

本部会議

■ 本部会議の役割

- 市としての方針の決定
- 総合戦略案の最終調整と承認

■ スケジュール案

- 下記のとおり、全3回を想定
- なお、具体的な取組の内容やK P Iは各課と政策企画課で調整予定

	開催時期 (予定)	議題 (内容)
第1回	8月	戦略策定の全体的な方針 (全体スケジュールなど)
第2回	10月	中間報告 (具体的な取組検討方針など)
		(次年度当初予算要求方針)
第3回	2025年 1月	最終報告 (総合戦略案の最終調整など)

審議会

■ 審議会の役割

- 有識者及び関係団体（産学官金労言士）からの意見聴取
- 総合戦略案等に対する審議

■ スケジュール案

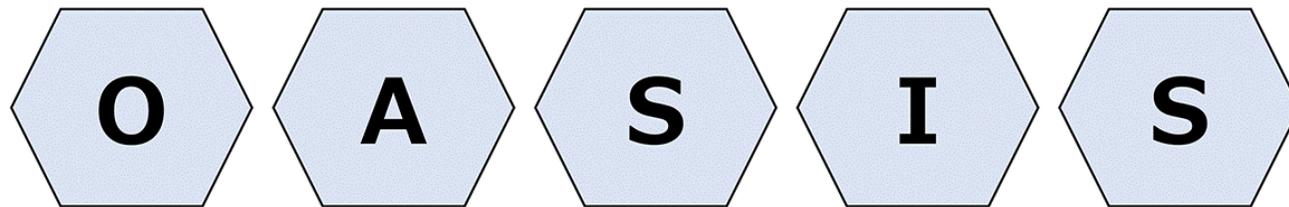
- なお、第2回は市民参加を募り、公募市民を交えた議論を行う

	開催時期 (予定)	議題 (内容)
第1回	8月26日	策定方針の確認 スケジュール確認 現状（人口、K P I）の確認
第2回 (市民参加)	11月2日	現行戦略の振り返り 現状の課題整理 次期戦略のアイデアだし
第3回	11月下旬	次期戦略素案の協議
第4回	2025年 1月	次期戦略案の協議

市若手職員と大学生によるワークショップ

今回新たに、市若手職員と大学生によるワークショップを実施します

市若手職員と大学生によるワークショップ



講義 1・2

- ・ ウェルビーイングとは
- ・ 各種分析手法
- ・ 内外の先進事例
- ・ 内閣府等の既存データの紹介
- ・ 日本人の幸福観と文化特性

- ・ **ディスカッション**

アサイメント1

- ・ 宿題① (幸福度指標システム)
- ・ 宿題② (主観 x 客観分析)

講義 3

- ・ 地域幸福度指標
- ・ 主観 x 客観マトリクス
- ・ 相関分析
- ・ 認知バイアス
- ・ 統合マップ作成
- ・ ロジックツリー作成

- ・ **ディスカッション**

アサイメント2

- ・ 宿題③ (統合マップ)
- ・ 宿題④ (ロジックツリー)

講義 4

- ・ 将来シナリオ作成
- ・ バックキャストイング
- ・ 政策ゴール設定
- ・ インパクトの考え方
- ・ ロジックモデル作成
- ・ ファイナンス (SIB)

- ・ **ディスカッション**

アサイメント3

- ・ 宿題⑤ (バックキャストイング)
- ・ 宿題⑥ (ロジックモデル)

講義 5

- ・ 全体統合 (宿題①~⑥を統合し、最終発表資料を作成)

- ・ **ディスカッション**

アサイメント4

- ・ 宿題⑦ (①~⑥の統合とブラッシュアップ)

講義 6

- ・ 首長あてプレゼン

1. ウェルビーイング分析結果
2. ウェルビーイング政策領域の選択
3. ペルソナ別の政策目標・内容
4. 市固有の追加アンケート・KPI、及び分析手法

アサイメント5

- ・ 宿題⑧ (最終発表資料の提出)

- 市職員（若手職員）と大学生（APU、別府大学、溝部学園短期大学）によるワークショップ形式で地域幸福度の分析、戦略案に関する提案を行う
- 運営は他自治体でも実績（OASIS研修として）を有するスマートインスティテュートジャパンが実施
- 全6回で実施し、最終回は市長等に対しプレゼンを行う予定

回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
期日	7/16 (火)	8/23 (金)	8/30 (金) ⇒台風のため延期	9/12 (木)	12/4 (水)	12/23 (月)
会場	5階大会議室	レセプションホール	5階大会議室	水道局3階大会議室	5階大会議室	5階大会議室

具体的な戦略案の調整（関係各課と政策企画課）

これまでの取組を踏まえ、具体的な戦略案の立案を行います

関係各課

■ 各課の役割

- 所管している取組の効果検証
- 新総合戦略に計上する取組、K P I の検討（別途実施しているワークショップとの連携を含む）
- 最終案の確認

■ スケジュール案

- 関係各課と政策企画課が連携して実施

政策企画課（事務局）

■ 政策企画課（事務局）の役割

- 全体調整
- 各会議体の準備、運営、とりまとめ
- 各課への作業依頼ととりまとめ
- 戦略案の調製、最終化

	関係各課	政策企画課	備考
8～9月	効果検証（R5） 取組・K P I の検討	各課への依頼 とりまとめ	人口ビジョンの改訂
9～10月	各課ヒアリングの実施（政策調整）		
10～11月	取組・K P I のブラッシュアップ	戦略素案のとりまとめ	部局横断的な取組の調整を含む
12～1月	次年度予算との調整 取組・K P I の最終化	戦略案のとりまとめ 最終化	
1月～3月	—	戦略冊子の作成	デザイン、印刷